

平成 23 年 6 月 29 日

全国獣医学関係大学教員各位

## 共用試験実施に至るまでの工程について

全国獣医学関係大学代表者協議会会長

吉川 泰弘

獣医学共用試験準備委員会 委員長

高井 伸二

獣医学教育の充実と改善の取組の中で臨床・公衆衛生・衛生分野の教育においては「参加型実習」が不可欠です。参加型実習を行う学生の質の確保と保証のための方策について、全国獣医学関係大学代表者協議会において獣医学共用試験調査委員会（委員長：北里大学高井伸二教授）を設けて調査検討し、平成 22 年 3 月の本協議会に於いて、「医学・歯学・薬学の手法を参考として「共用試験」を選択することを視野に入れて今後議論を進めるべきである」との答申を受け、同年 9 月の本協議会で獣医学共用試験に向けた準備委員会を立ち上げました。

共用試験を実施するためには、コアカリキュラムの制定（平成 23 年 3 月末制定予定）を基盤として、多くの問題を解決しなければならず、他分野の状況を参考にすると最短でも 6～7 年の歳月を要すると考えられます。今回、獣医学共用試験準備委員会において、別添の共用試験実施に至るまでの工程表（最短のシナリオ）を作成致しました。

概要は以下の通りです。

- 平成 23 年 3 月 獣医学モデル・コアカリキュラム制定
- 平成 23 年 4 月 共用試験あり方委員会・内容検討委員会
- 平成 23 年 4 月 相互評価検討委員会
- 平成 23 年 9 月 科研費申請「獣医学共用試験の開発的研究」
- 平成 24 年 4 月 共用試験作成依頼内容検討委員会・問題マニュアル作成委員会
- 平成 24 年 4 月 OSCE 検討委員会
- 平成 25 年 4 月 共用試験実施機構設立準備委員会
- 平成 25 年～27 年 3 回のトライアル（CBT, OSCE）の開始

平成 28 年 共用試験本格運用開始

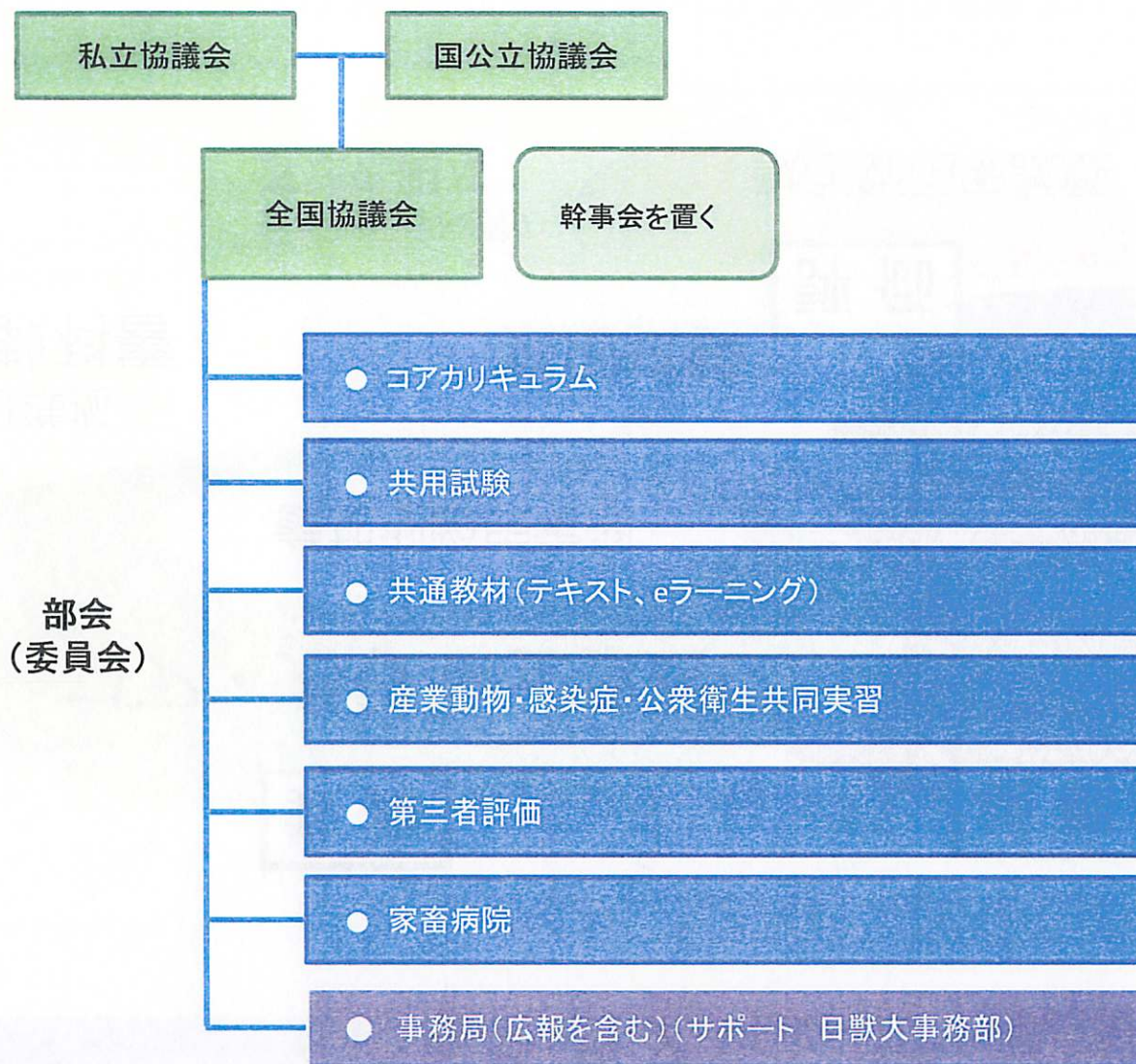
今後本協議会の獣医学共用試験準備委員会は、上記の工程表に従って準備を進めたいと考えています。本事業を成し遂げるには全国獣医学関係大学教員の総意と理解が必要です。皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

共用試験実施に至るまでの工程表（協力者会議取り纏めの改革工程を追加）平成 23 年 6 月 29 日

資料⑧-2

年度	全国協議会	農水省 文科省	教育研究体制の整備	モデル・コア・カリキュラム	分野別第三者評価	共用試験準備委員会
20 2008		✓ 平成 20 年～獣医学 教育改善充実協力 者会議				
21 2009	✓ 9 月獣医学共用試験 調査委員会立ち上げ ✓ 3 月 答申書受理		✓ 4 月獣医・動物医科学系教育コン ソーシアムによる社会の安全・安 心に貢献する人材の育成（代表 校：鳥取、岐阜、京産）	✓ 7 月 獣医学教育モデ ル・コアカリキュラム に関する調査研究開始		✓ 11 月 調査委員会(5 回) ✓ 平成 22 年 3 月 答申書提出
22 2010	✓ 9 月大学独自で実施 する違法性阻却に向 けたガイドラインの 作成を要請	✓ 6 月 30 日農水省報 告書（通知）「学生 の臨床実習におけ る 17 条の適用」	✓ 1 月 25 日北大・帯畜大「獣医学 共同教育課程」 ✓ 8 月 23 日「鹿児島（山口）大学 共同獣医学部獣医学科」	✓ 講義科目・第一次案 ✓ 講義科目・パブコメ ✓ 講義科目・第二次案 ✓ 実習科目も同様		✓ 9 月共用試験調査委員会を準備委員 会として再編 ✓ 10 月全国 16 大学からなる準備委員 会立ち上げ
23 2011	✓ 4 月コアカリ制定 ✓ 4 月相互評価検討委 員会の立ち上げ（第 三者評価委員会）	✓ 3 月「今後の獣医学 教育の改善・充実 方策について」の 取り纏め	✓ 1 月 12 日「岩手大学・東京農工 大学共同獣医学課程」	✓ 4 月コアカリ策定	✓ 評価のあり方検討 ✓ 評価基準の検討	✓ 6 月総会 方針の確認 ✓ 9 月内容検討委員会の立ち上げ ✓ 10 月科研費基盤 A 申請（事業費とし て）
24 2012			✓ 共同学部の実施（鹿・山） ✓ 共同学科の実施（帯・北、岩・農 工）	✓ 各大学におけるカリキ ュラムの改革	✓ 評価基準案の提示 ✓ 自己評価の試行	✓ 4 月作成依頼内容検討WG ✓ 4 月問題マニュアル作成WG ✓ 4 月 OSCE 検討委員会の立ち上げ
25 2013	✓ 実施機構設立準備 ✓ 共用試験試行開始		✓ 共同学部・学科（2 年生）			✓ 試験問題作成の開始 ✓ 12 月第 1 回トライヤル ✓ 1 月 OSCE トライヤル
26 2014			✓ 共同学部・学科（3 年生）		✓	✓ 12 月第 2 回トライヤル ✓ 1 月 OSCE トライヤル
27 2015			✓ 共同学部・学科（4 年生）		✓ 評価基準の提示 ✓ 実施体制の決定	✓ 12 月第 3 回トライヤル ✓ 1 月 OSCE トライヤル
28 2016	✓ 4 月共用試験実施機 構設立		✓ 共同学部・学科（5 年生）	✓ コアカリの改訂	✓ 評価基準の最終決 定 ✓ トライアル第三者 評価	✓ 12 月共用試験本格運用開始
29 2017			✓ 共同学部・学科（6 年生）		✓	
32 2020					✓ 本格実施	

# 全国協議会：新体制（2011年6月～）





# 第3期 獣医学教育改革の方向性



【獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議(2011年6月)】

# コアカリキュラムの位置づけ

## 6年間の獣医学教育課程

コア・カリキュラムが提示する科目

アドバンス科目

講義科目51科目  
(98単位)

実習科目19科目  
(23単位)

教員  
独自の  
項目

自由に設定  
(卒論や臨床研究  
を含む)

2/3

1/3

到達目標1700項目で具体的に提示  
(ただし200項目程度は科目間で重複している)

注: 科目名と単位数は標準的なものである。コアカリでは単位数を規定していない。